

がたっこプロジェクト2024活動報告書

がたっこプロジェクトの目的

児童・生徒がSDGsや環境問題について対話の手法を通して理解を深めます。幅広い視野で物事を捉える大切さを認識するとともに、未来志向で自らのアクションにつなげることを目的としています。令和6年度は、小学校1校、中学校3校で、授業運営支援を各校2回行いました。

小学校での授業（1校で実施）

新潟市立岡方第一小学校5年生に向けて「総合的な学習の時間」にて授業を2回実施しました。1回目はファシリテーションで「対話のコツ」を演習し、「これまで十二渦を学んでわかったこと」を対話しながらマッピングしました。2回目はSDGsの17ゴールと十二渦の理想の未来との関連ワークを実施。身近な十二渦からSDGsの視点に気づき社会課題とつながっていることを学習しました。



子どもたちの声

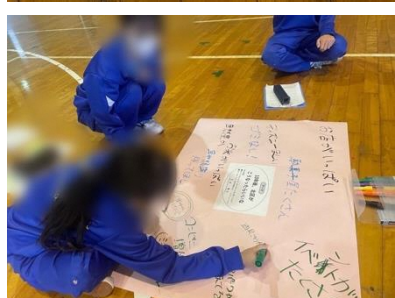
●SDGsを達成するために私たちにもできることがあると知りました。それが十二渦を守ることにもつながると思いました。もっとみんなに呼びかけたりして、自分からできることをしていきたいです。

●前はSDGsのことを知りませんでした。授業を聞いて、ゴールに向けてみんなで協力して、チームプレーで取り組むことが大切だとわかりました。

●SDGsのゴールに向けて取り組むことが、十二渦の未来にも、自分の生活の中にも関係していると知りました。

中学校での授業（3校で実施）

新潟市立内野中学校・早通中学校・岡方中学校の「総合的な学習の時間」にて各校2回ずつ授業しました。早通中学校の初回は、ファシリテーションの基礎スキルを学び、SDGsのゴール同士の関連性を考えました。2回目はSDGsと地域のニュースを関連づけるワークで、課題同士がつながっていることの理解を深めたあと、10年後の北区の理想を話し合いました。SDGsは身近な問題であると認識するとともに、地域の将来へつなげる学習を展開しました。



子どもたちの声

●今までSDGsの名前しか知らなかったけど、詳しく学んでゴールの意味やつながりを知ることができた。身のまわりの生活を改めたいと思います。

●地域のニュースを取り上げたワークを通して、一つの活動がSDGsの色々な項目の力になっていることがわかりました。一つの物事を様々な角度から見る事ができました。

●SDGsは、ポイ捨てとか地球温暖化のことぐらいしか知らなかったけど経済やまちづくりなど他にもいろいろな項目があり、自分に身近なことだと学びました。